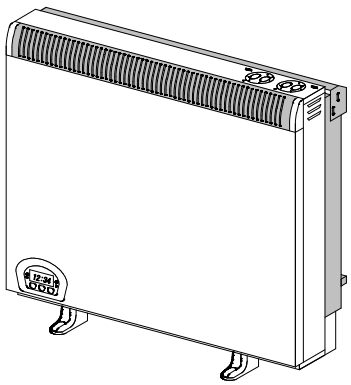
MA130012E A4 17/04/01

Dimplex®



## 電気蓄熱暖房器ユニデール

# 取扱説明書（保証書付）

自然対流式（マイコン内蔵型）
WMEシリーズ

型番 WME 712JW
WME 718JW
WME 724JW

- この度は、電気蓄熱暖房器ユニデールWMEシリーズをお買い上げいただきましてありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- この取扱説明書には保証書がついておりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

## もくじ

ページ

**ご使用まえに**

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
本機の特長 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
マイコン機能のしくみ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
操作部の名称と機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

**おもな操作のしかた**

現在時刻の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
蓄熱量の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
放熱量の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
追焚の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

**便利な機能**

蓄熱時間の設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
チャイルドロック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

**必要なとき**

お手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
故障かな？と思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
保証とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
お客様ご相談窓口のご案内 ・・・・・・・・・・・・・・・ 16

# 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

● 表示内容を無視した時に生じる人身への危害、財産への損害の程度を、次のレベルに分類し説明しています。

⚠ **警告**：取扱を誤った場合、死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。

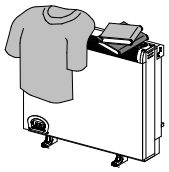
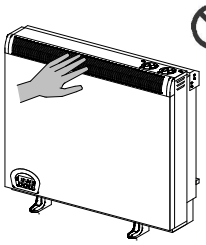
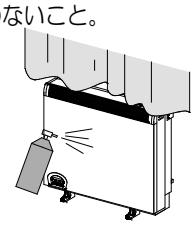
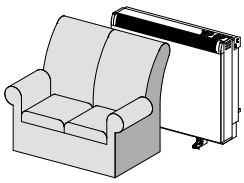
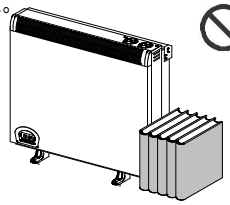
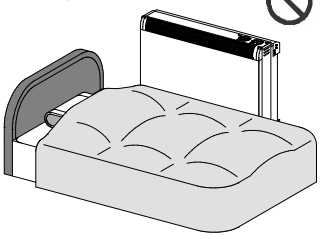
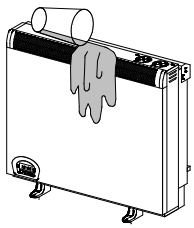
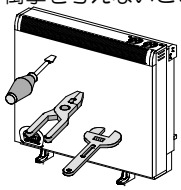
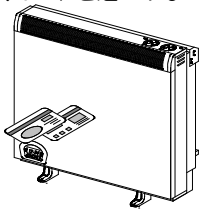
⚠ **注意**：取扱を誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容です。

● お守りいただく内容の種類を、次の記号で区分し説明しています。

⃠ 禁止図記号 ・・・・ 製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号。

❗ 指示図記号 ・・・・ 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号。

## ⚠ 警告

| | | | |
|---|---|---|---|
| 上部（天板）に物を置かないこと。衣類など本体にかけて乾かさないこと。<br><br>火災のおそれがあります。また、安全スイッチ（蓄熱温度過昇防止装置）が働き蓄熱しなくなるおそれがあります。 | グリル部を手で触らないこと。<br><br>やけどのおそれがあります。 | 塗料、シンナーなど引火性の物を近づけないこと。おもちゃやカーテンなど燃えやすい物をそばで使わないこと。<br><br>火災、爆発のおそれがあります。 | 前面に物を置いてグリル部をふさがないこと。<br><br>安全スイッチ（蓄熱温度過昇防止装置）が働き蓄熱しなくなるおそれがあります。 |
| 本体と壁の間に物を入れないこと。本体に接触して物を置かないこと。<br><br>火災のおそれがあります。 | 本体に座布団や寝床を近づけないこと。<br><br>火災のおそれがあります。 | 水をかけたりしないこと。<br><br>絶縁劣化により漏電、感電、火災のおそれがあります。 | 本体の分解、改造を行わないこと。衝撃を与えないこと。<br><br>感電、やけど、火災のおそれがあります。修理が必要な時は販売店にご相談ください。 |
| 磁気カードを近づけないこと。<br><br>本体の誤作動、故障の原因となります。 | グリル部に金属などの異物を入れないこと。<br><br>感電、火災のおそれがあります。 | スプレーなどの缶を本体の近くに置かないこと。<br><br>爆発、火災のおそれがあります。 | |

⃠ **本体表面に結露が生じる場所、水濡れや湯煙がある場所で使用しないこと。**
絶縁劣化により漏電、感電、火災のおそれがあります。

⃠ **間接的でも長時間人体を接触させないこと。**
やけどのおそれがあります。

❗ **アース、漏電遮断装置の工事が行われていること。**
そのまま使用すると感電のおそれがあります。
また、異常時などの場合、漏電遮断装置を「切」にしないでそのまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。

❗ **転倒防止金具（ブラケット）が正しく取りつけられ、本体がしっかりと固定されていること。**
固定されていないと地震などにより本体が倒れてけがをすることがあります。

## ⚠ 注意

**運転中は操作部以外は触らないこと。**
やけどのおそれがあります。

**幼児や体の不自由な方は、付き添いなしのご使用は避けること。**
やけどのおそれがあります。

**暖房以外の目的で使用しないこと。**
感電・火災・やけどのおそれがあります。

**電源コードなどを無理に引っ張らないこと。**
感電・火災のおそれがあります。

**本体表面の清掃は、ベンジン・シンナーなどの溶剤、クレンザー、たわしは使用しないこと。**
本体表面の塗装を傷めるおそれがあります。

**取付作業は、専門の設置業者が行うこと。**
機器の転倒や火災・感電のおそれがあります。

**配線工事は、有資格の電気工事業者が行なうこと。**
感電のおそれがあります。

**異常が感じられるときは、ブレーカを「切」にすること。**
異常のまま使用すると故障や感電、火災のおそれがあります。

**電源コードが破損した場合の修理は、必ず専門業者に依頼すること。**
感電・ケガのおそれがあります。

**本体表面の清掃は、必ずブレーカーを「切」にし本体を冷やしてから行うこと。**
感電・やけどのおそれがあります。

**本体内部の清掃は、必ず専門業者に依頼すること。**
感電・ケガのおそれがあります。

**本体付近の壁紙などは熱で変色しない物を使用すること。**
本体の熱で壁紙などが変色するおそれがあります。

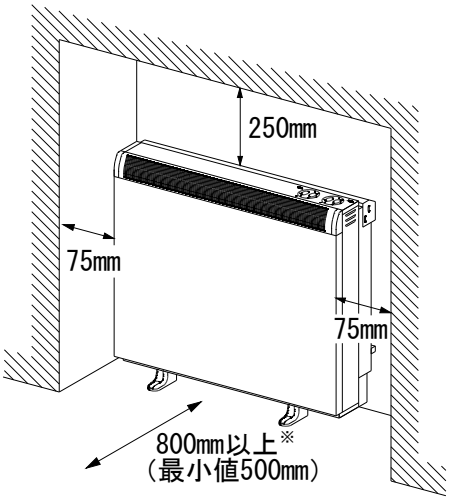
※ 空気中の温度差によってできる上昇気流の影響による熱やほこりなどによって壁面が変色する場合もあります。

### ⚠ 離隔距離に関しての注意

カーテンなどの可燃物に対して以下の離隔距離を確保すること。
離隔距離は、正常に作動するために必要な最低限の寸法です。
周囲の仕上げ材などの変色・変形しないことを保障するものではありません。

- 左右面方向・・・・・・・ 75mm 以上
- ならべて設置する場合・・ 75mm 以上
- 上面方向・・・・・・・・・ 250mm 以上
- 前面方向・・・・・・・・・ 800mm 以上※
  （最小値 500mm）

※メンテナンススペースとして必要です。



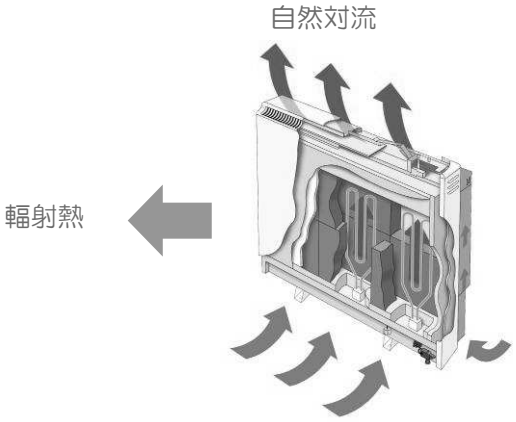
# 本機の特長

電気蓄熱暖房器ユニデールWMEシリーズは、深夜電力（２００Ｖ）を使用して蓄熱レンガに熱を蓄え、暖房器本体表面からの輻射熱と自然対流によりお部屋を暖めます。

電気ヒータによる暖房のため排気による空気の汚れがなく、クリーンです。

また、マイコン機能により無駄な電気を消費しない経済的な暖房器です。

※ 電源は２００Ｖ（蓄熱用）と１００Ｖ（制御回路用）を使用します。




**クリーン**　燃焼部分がないため、排気ガスによって空気を汚すことがありません。

**追焚機能**　万一蓄熱量が不足しても、追焚機能で日中（蓄熱時間帯外）の蓄熱が可能です。

※時間帯別電灯契約でご使用の場合に限ります。

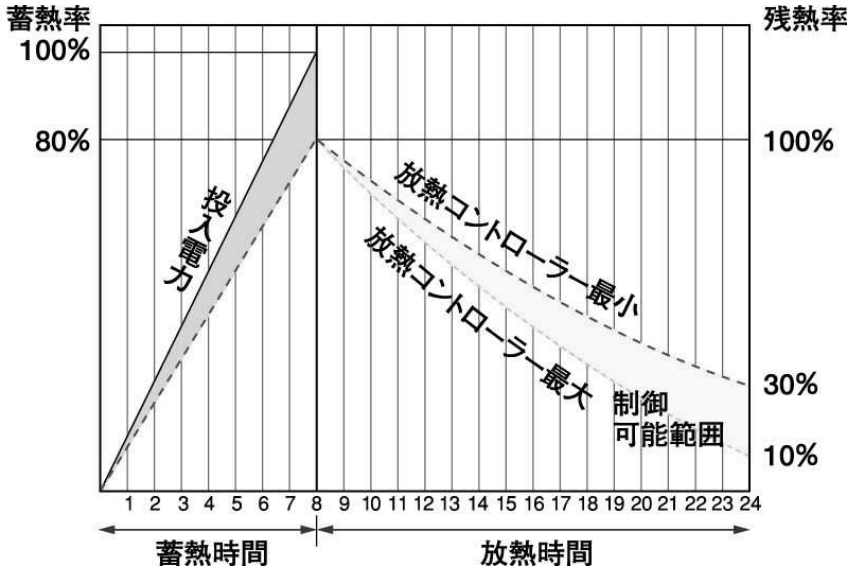
**マイコン機能**　マイコン制御で、前日の残熱量により蓄熱時間を調整（ピークシフト）し、無駄な電力消費を抑えます。

また、通電制御割引（マイコン割引）によりランニングコストを低減します。

※マイコン割引のある地域とない地域があります。また、割引金額も地域により違いがありますので、各電力会社にご確認ください。

暖房器の放熱特性は、下記のグラフのように制御可能範囲で暖房することができます。

- 放熱コントローラー最小　・・・放熱量を最小にした場合、残熱量は約３０%になります。
- 放熱コントローラー最大　・・・放熱量を最大にした場合、残熱量は約１０%になります。

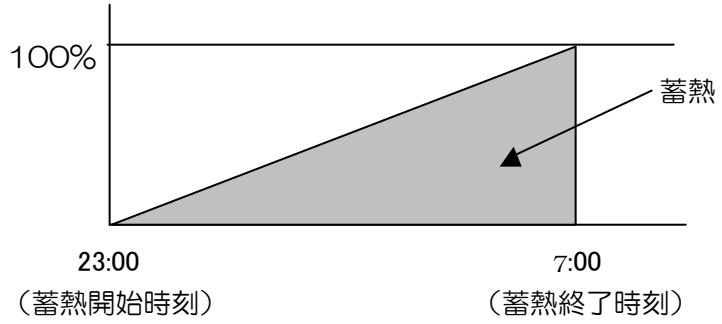



※ 窓を開け放しにするなど、室温を低くすると残熱量は表記以下になる場合があります。

# マイコン機能のしくみ

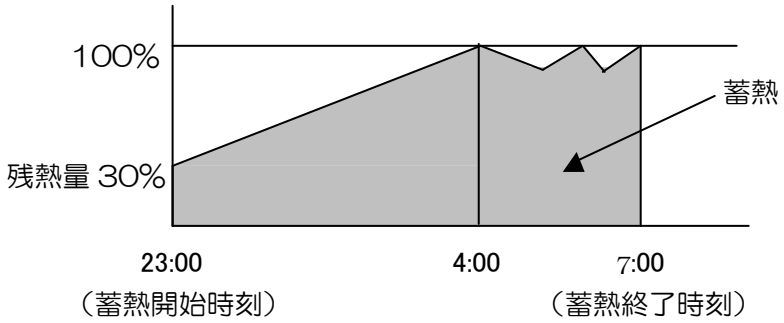
残熱量と、設定された蓄熱量に応じて、蓄熱開始時刻を自動的に決定し、蓄熱運転を行います。

### 【 例１：マイコン機能なし、残熱量０％の場合 】



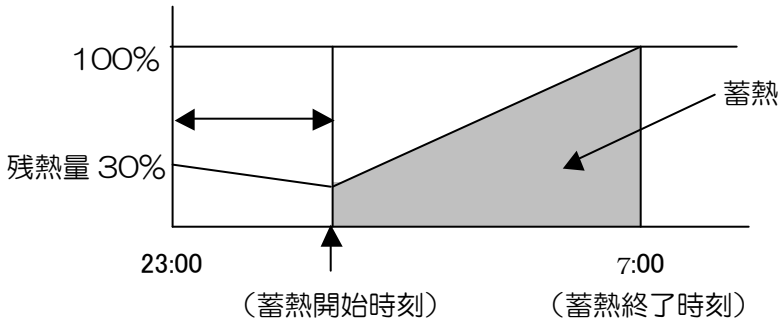

23:00 に残熱量が０％の場合、23:00 に電源が入り、7:00 までの８時間蓄熱することで蓄熱量が 100%に達します。

### 【 例２：マイコン機能なし、残熱量 30%の場合 】



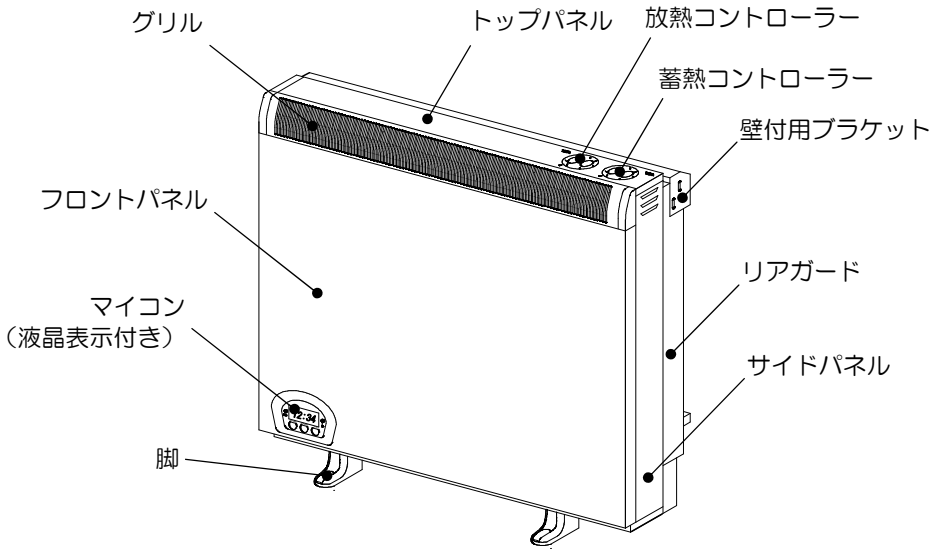

23:00 に残熱量が 30%の場合、23:00 に電源が入り、4:00 頃に蓄熱量が 100%に達します。その時点で一旦通電が遮断され、蓄熱量が 10%程度減ると通電が再開され、それを 7:00 まで繰り返します。

### 【 例３：マイコン機能あり、残熱量 30%の場合 】




23:00 に残熱量が３０％の場合、7:00 の時点で蓄熱量が 100%となるように通電開始時刻を調整（ピークシフト）します。

# 各部の名称

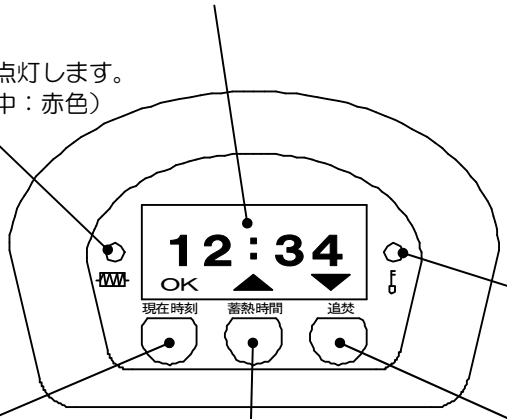



# 操作部の名称と機能

## マイコン部

**表示部**
通常は現在時刻を表示します。
各種設定時には、それぞれに応じた
画面が表示されます。

**蓄熱ランプ**
蓄熱中あるいは追焚中に点灯します。
（蓄熱中：緑色、　追焚中：赤色）




**チャイルドロックランプ**
チャイルドロック中に点灯します。
（チャイルドロック中：橙色）

**現在時刻ボタン**
現在時刻の設定を行うボタンです。
（７ページ参照）
現在時刻設定時は「OK」の選択をします。（７ページ参照）
蓄熱時間設定時は「OK」「戻る」の選択をします。（１０ページ参照）

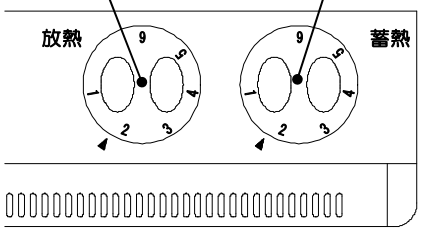
**蓄熱時間ボタン**
蓄熱時間の設定を行うボタンです。
（１０ページ参照）
現在時刻設定時は「▲」の選択をします。（７ページ参照）
蓄熱時間設定時は「▲」「設定」の選択をします。（１０ページ参照）

**追焚ボタン**
追焚の開始や解除を行うボタンです。
（９ページ参照）
現在時刻設定時は「▼」の選択をします。
（７ページ参照）
蓄熱時間設定時は「▼」の選択をします。
（１０ページ参照）

## コントローラー部

**放熱コントローラー**
放熱量を調節します。
（８ページ参照）

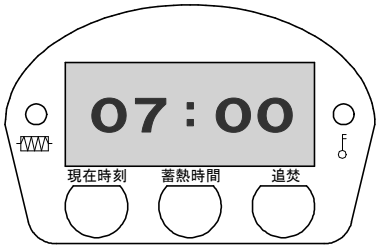
**蓄熱コントローラー**
蓄熱量を調節します。
（８ページ参照）



# 現在時刻の設定

はじめて電源を投入した時など現在時刻が設定されていない場合、表示部が点滅状態となり、本機の機能が一切働きませんので現在時刻を設定する必要があります。
また現在時刻が正確に設定されていないと機能が正しく働かないだけでなく、電気料金が増大する場合がありますので定期的に確認をしてください。
特に暖房シーズン前には、時刻合わせを確実に行ってください。

【例】午前７時００分（０７：００）の表示を、午後１時１３分（１３：１３）に合わせる場合



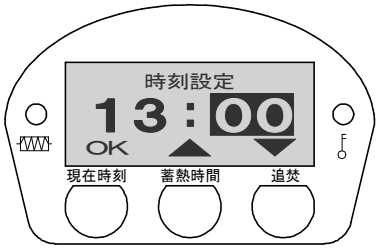

①現在時刻ボタンを３秒以上長押しします。

「時刻設定」が表示され、
「時」部分が色反転します。



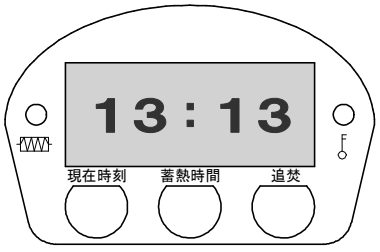

②▲・▼ボタンを押して「時」を「13」に調整し、ＯＫボタンを押します。

「時」の「13」が点灯し、
「分」部分が色反転します。




③▲・▼ボタンを押して「分」を調整し、ＯＫボタンを押します。

現在時刻が表示されます。

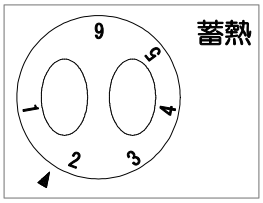



※時刻は 24 時間表示になりますのでご注意ください。
※設定の途中で 1 分間何も操作が行われなかった場合、設定画面は解除されます。

解除される前にＯＫボタンを押した内容は、以下のようになります。
「時」のみＯＫボタンで確定　・・・　キャンセルされます。
「時」「分」共にＯＫボタンで確定　・　キャンセルされません。

# 蓄熱量の設定

・蓄熱コントローラーのダイヤルを調節します。
・蓄熱コントローラーの目盛は「１」～「６」の範囲で設定できます。




［設定蓄熱量と目安について］

| 蓄熱 ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ | 設定蓄熱量 | 目安 |
|---|---|---|
| １ | ０% | 暖房器を使用しない時期 |
| ２ | １０% | 春や秋などのわずかな暖房が必要な時期 |
| ３ | ４０% | 初冬などの比較的寒さの厳しくない時期 |
| ４ | ６０% | |
| ５ | ８０% | 真冬など昼夜を通して暖房が必要な時期 |
| ６ | １００% | |

［初めて使用する場合］

１）２００Ｖ電源ブレーカーを「入」に、放熱コントローラーを「１」に設定してください。

２）蓄熱コントローラーを「２」に設定してください。これで準備完了となります。

※ 初めて蓄熱する場合は、臭いが生じますので十分に換気してください。

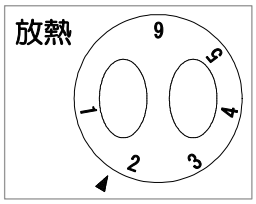
※ 初めて蓄熱する場合または長時間ご使用を中止した場合は、下記要領でご使用ください。

| | 蓄熱コントローラーの設定 |
|---|---|
| １日目 | ２ |
| ２日目 | ４ |
| ３日目 | ６ |

- 蓄熱量は低めに設定されたほうが経済的ですが、外気温の変動が大きいときなど、蓄熱量が不足する場合があります。
- 外気温度が急激に低下すると予想される場合は、蓄熱量を増すよう蓄熱コントローラーの設定を調節してください。
- 日中に外出する際に、設定蓄熱量を変更する必要はありません。
- 蓄熱コントローラーの設定「1」は室温 20℃以上において「0%」となります。室温が 20℃以下では蓄熱する場合がありますので、シーズンオフなどで暖房器を長時間お使いにならない時は、蓄熱コントローラーの設定を「１」に、電源ブレーカー（200V）を「切」にしてください。
  ※100V 電源はデータ保持のため、入れたままにしてください。

# 放熱量の設定

・放熱コントローラーのダイヤルを調節します。
・放熱コントローラーの目盛は「１」～「６」の範囲で設定できます。




※ 本体上部のグリル内部にあるダンパー開度を切り替えることで、放熱量が調節されます。
※ 室温に応じて設定をおこなってください。（普段は「３」～「４」でご使用ください。）
※ 放熱コントローラーを常時高めに設定すると、蓄熱量が不足することがあります。

# 追焚の設定

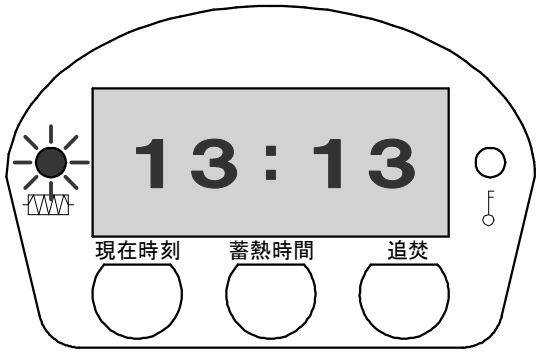
日中（蓄熱時間帯外）の蓄熱量が少なくなった時に追焚を行い、蓄熱量を補充することができます。

※ 追焚機能を利用するには、夜間時間以外でも蓄熱暖房器用 200V 電源を使用できる時間帯別電灯契約をする必要があります。

## 【 追焚の開始 】

追焚ボタンを１秒以上長押しします。

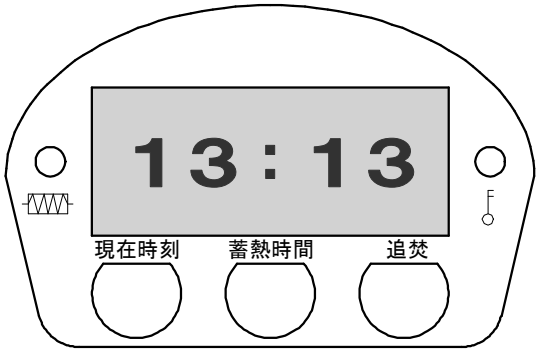
蓄熱ランプが赤色に点灯します。




## 【 追焚の解除 】

追焚ボタンを１秒以上長押しします。

蓄熱ランプが消灯します。




※ 追焚は、蓄熱量設定より現在の蓄熱量が低い時に追焚されます。

※ 追焚開始後２時間経過した時か、設定蓄熱量に達した時のどちらか早い方に合わせて自動的に終了します。

※ 追焚中に蓄熱開始時刻になると、自動的に追焚は終了します。

※ 追焚は深夜時間帯以外の電気を使用するため電気料金が割高となります。

# 蓄熱時間の設定

夜間の蓄熱を開始する時刻と終了する時刻を設定します。

**【例】 蓄熱開始時刻を 22:30、蓄熱終了時刻を 6:30 と設定する場合**

| | | |
|---|---|---|
| ① 蓄熱時間ボタンを３秒以上押し続けます。 |  | 「蓄熱時刻」の表示が現われる。 |
| ②「設定」ボタンを押します。<br>※ 「戻る」ボタンを押すと、現在時刻表示に戻ります。 |  | 「開始時刻」の表示が現われる。<br>「時」部分が色反転する。 |
| ③▲・▼ボタンを押して、蓄熱開始時刻の「時」を設定します。 |  | 時刻(時)を調整する。 |
| ④「OK」ボタンを押します。 |  | 「分」部分が色反転する。 |
| ⑤▲・▼ボタンを押して、蓄熱開始時刻の「分」を設定します。 |  | 時刻(分)を調整する。 |
| ⑥「OK」ボタンを押します。 |  | 「終了時刻」の表示が現われる。<br>「時」部分が色反転する。 |
| ⑦▲・▼ボタンを押して、蓄熱終了時刻の「時」を設定します。 |  | 時刻(時)を調整する。 |
| ⑧「OK」ボタンを押します。 |  | 「分」部分が色反転する。 |
| ⑨▲・▼ボタンを押して、蓄熱終了時刻の「分」を設定します。 |  | 時刻(分)を調整する。 |
| ⑩「OK」ボタンを押します。 |  | 「蓄熱時刻」の表示が現われる。 |
| ⑪「戻る」ボタンを押します。<br>※ 「設定」ボタンを押すと、蓄熱開始時刻の設定画面になります。 |  | 現在時刻表示に戻る。 |

※時刻は 24 時間表示になりますのでご注意ください。
※設定の途中で 1 分間何も操作が行われなかった場合、現在時刻表示に戻ります。

（現在時刻に戻る前にOKボタンを押した内容は、以下のようになります。
「時」のみOKボタンで確定 ・・・ キャンセルされます。
「時」「分」共にOKボタンで確定 ・ キャンセルされません。）

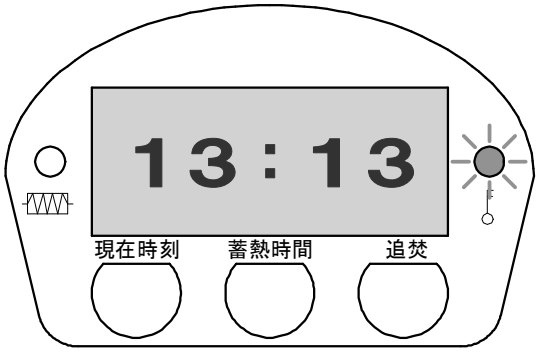
# チャイルドロック

小さなお子様のいるご家庭など誤操作防止のため、チャイルドロック機能をお使いになられることで、ボタン操作ができなくなります。

## 【 チャイルドロックの開始 】

現在時刻ボタンと追焚ボタンを同時に３秒以上長押しします。

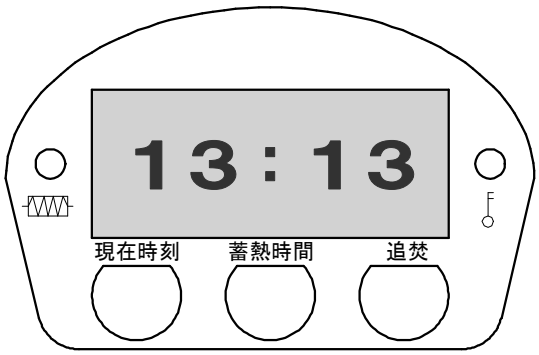
チャイルドロックランプが
橙色に点灯します。




## 【 チャイルドロックの解除 】

現在時刻ボタンと追焚ボタンを同時に３秒以上長押しします。

チャイルドロックランプが
消灯します。



# お手入れ

**⚠ 警告**

**本体に水をかけない**
漏電、感電、火災のおそれがあります。

**⚠ 注意**

**本体表面の清掃は、必ず200V電源ブレーカーを「切」にし、本体表面を冷やす**
感電、やけどのおそれがあります。

**本体表面の清掃は、ベンジン・シンナーなどの溶剤、クレンザー、たわしは使用しない**
本体表面の塗装を傷めるおそれがあります。

**本体内部の清掃は、必ず専門業者に依頼する**
感電、ケガのおそれがあります。

暖房器を末永くお使い頂く為にも、定期的にお手入れを行ってください。

【本体表面】
通常は乾いた柔らかい布で拭取ってください。
汚れがひどいときは、中性洗剤をしみこませた布で拭取ってください。

【暖房器底部・周辺の隙間】
ホコリがたまりやすくなっていますので時々掃除機でホコリやゴミを取り除いてください。
※ ホコリやゴミがたまった状態で運転を行うと、暖房能力の低下や、故障の原因となる場合があります。

【マイコン部】
現在時刻の設定を定期的に行ってください。特に暖房シーズン前は、時刻設定を確実に行ってください。

## 長期間お使いにならない時

シーズンオフなど長期間お使いにならない時は、
- 蓄熱コントローラーは「1」（8ページ参照）
- 放熱コントローラーは「1」（8ページ参照）
- 200V 電源ブレーカーは「切」

にし、100V 電源は入れたままとしてください。（バックアップ電池の消耗を低減するため。）

## 定期点検

末永くお使い頂く為にも2年間に一度程度の機器点検をお勧めいたします。（有料）

機器の点検の依頼は、販売店もしくは工事店にご依頼ください。

## 停電時のデータバックアップ

停電時は蓄熱機能が停止し表示部が消えますが、バックアップ電源（内蔵電池）により時計機能や各設定値は保持されています。（バックアップ時間は 2 年以上）

通電再開後は自動的に運転が再開しますが、もし時計機能がリセットされている場合は、現在時刻の設定を行って頂ければ通常どおりご使用できます。

内蔵電池（リチウム電池 CR2032）の交換は、販売店に御相談ください。

# 故障かな？と思ったら

| 症状 | 調べる所 | 対処方法 |
|---|---|---|
| コントローラー画面が表示されない。 | 100V 電源プラグが抜けていませんか。<br>ブレーカーは「切」になっていませんか。 | 100V 電源プラグの確認と、ブレーカーを「入」にしてください。 |
| | 100V 電源が入っている場合。 | 100V 電源プラグまたは 100V ブレーカーを「切」にした後、再度「入」にしてください。 |
| ボタン操作ができない。 | チャイルドロックが働いていませんか。 | チャイルドロックを解除してください。<br>（11 ページ参照） |
| エラー表示が出る。 | エラーコード表示をご参照ください。（13 ページ参照） | |
| 暖房器が暖まらない。 | 200V 電源ブレーカーが「切」になっていませんか。 | 200V 電源ブレーカーを「入」に設定してください。 |
| | 現在時刻、蓄熱開始・終了時刻の設定は正しく設定されていますか。 | 現在時刻設定、蓄熱開始・終了時刻の設定をしてください。<br>（7,10 ページ参照） |
| | 蓄熱量を低い設定にしていませんか。 | 蓄熱量設定を大きくしてください。（8 ページ参照） |
| | 蓄熱時間帯に放熱量を高い設定にしていませんか。 | 蓄熱時間帯は、放熱量設定を「1」にするか、<br>放熱量の設定を低くしてください。（8 ページ参照） |
| お部屋が暖まらない。 | 上記”暖房器が暖まらない”をまずご確認ください。 | |
| | ドアや窓が開いていませんか。 | ドアや窓を閉めてください。 |

上記対応でも問題が解決しない場合は、電源ブレーカーを「切」にし、販売店にご連絡ください。

### 次の場合は故障ではありません

| 症状 | 調べる所 | 対処方法 |
|---|---|---|
| 本体から音が鳴る。 | 蓄熱時や放熱時の音ですか。 | 蓄熱時、放熱時を問わず、熱の影響による金属の熱膨張・収縮による音や、床との摩擦による音が鳴りますが、異常ではありません。 |
| | 「カチッ」という音ですか。 | ヒーターへの通電を「入」「切」するスイッチ（リレー）動作音で、異常ではありません。 |
| においが出る。 | 初めてお使いになる場合、長期間使用していなかった場合は、ホコリや湿気でにおいが出る場合が有ります。<br>この時、お部屋は十分に換気した上で運転してください。 | |
| 放熱コントローラーの回り具合が重い。 | 機構上の違いのため、放熱コントローラーと蓄熱コントローラーの回り具合に差がありますが、<br>異常ではありません。 | |
| 蓄熱コントローラーの回り具合が軽い。 | | |

## エラーコード表示

エラーコード表示は、本機が正常な状態になるまで表示され、問題が解決すると自動的に復帰いたします。
エラーコードをご記憶の上、200V ブレーカーを「切」にし、100V 電源を切ってください。
その後、販売店もしくは工事店までご連絡ください。

| エラーコード | 異常内容 |
|---|---|
| Error 01 | 蓄熱コントローラーの異常（最大値異常） |
| Error 02 | 蓄熱コントローラーの異常（最小値異常） |
| Error 03 | 蓄熱センサーの異常（最大値異常） |
| Error 04 | 蓄熱センサーの異常（最小値異常） |

# 仕様

【 8時間蓄熱型 】

| 型　番 | | WME 712JW | WME 718JW | WME 724JW |
|---|---|---|---|---|
| 定格電圧 | 蓄熱 | 単相AC200V（50/60Hz） | | |
| | 制御回路 | 単相AC100V（50/60Hz） | | |
| 定格消費電力 | 蓄熱 | 1,500W | 2,250W | 3,000W |
| | 制御回路 | 5W | | |
| シーズヒーター本数 | | 2本 | 3本 | 4本 |
| 蓄熱レンガ数 | | 8個 | 12個 | 16個 |
| 最大蓄熱量 | | 12kWh（10,300kcal） | 18 kWh（15,500kcal） | 24 kWh（20,600kcal） |
| 有効蓄熱量 | | 9.6 kWh（8,300kcal） | 14.4 kWh（12,400kcal） | 19.2 kWh（16,500kcal） |
| 全重量（本体＋レンガ） | | 77kg | 110kg | 145kg |
| 外形寸法（幅×高さ×奥行）mm | | 560×671×192 | 788×671×192 | 1,016×671×192 |
| 200V配線用遮断器の定格電流 | | 15A | 20A | 20A |
| 200V屋内配線の最小電線太さ（銅線） | VVケーブル | 直径1.6mm（2.0mm$^2$） | 直径1.6mm（2.0mm$^2$） | 直径1.6mm（2.0mm$^2$） |
| | CVケーブル | 2.0mm$^2$ | 2.0mm$^2$ | 2.0mm$^2$ |
| 機能 | | 時計、蓄熱タイマー、ピークシフト、追焚、チャイルドロック、データバックアップ | | |
| 安全装置 | | 蓄熱温度過昇防止装置（自動復帰型・手動復帰型の２段階）<br>電源ヒューズ（2A）、転倒時電源遮断スイッチ（手前15°以上傾斜） | | |

# 保証とアフターサービス

## 保証書（添付）

この取扱説明書には保証書が添付されていますので、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日から本体２年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

## 補修用性能部品の保有期間

電気蓄熱暖房器の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 10 年間です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（１３ページ）に従って調べていただき、なお異常があるときは、電源ブレーカーを「切」にし、販売店にご連絡ください。

### ■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
修理に際しましては、保証書をご提示ください。

### ■保証期間が過ぎている場合は

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ■ご連絡いただきたい内容

| | |
|---|---|
| 品名 | 電気蓄熱暖房器 |
| 型番 | WME<br>712JW/718JW/724JW |
| お買い上げ日 | 年　　月　　日 |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に |
| お客様 | お名前、ご住所、電話番号 |
| 修理希望日 | 年　　月　　日 |